

製品安全データシート

作成:2001年12月10日

改訂:2011年1月8日

1、化学物質等及び会社情報

製品名 : **カナセライト**
 会社名 : カナセ工業株式会社
 住 所 : 〒646-0051 和歌山県田辺市稲成町 204-1 番地
 電話番号 : 0739-22-7651 (代)
 担当部門 : アクリルシート製造部
 〒649-2105 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来 526 番地
 TEL : 0739-47-1101(代) FAX : 0739-47-4001
 緊急連絡先 : 上記担当部門

2、危険有害性の要約

GHS分類 : 成形品(Article)であるため分類対象外(JIS Z 7252)

「通常の使用条件下では、含有化学物質等をごく少量、例えば痕跡量しか放出せず、取扱者に対する物理化学的の危害又は健康への有害性を示さないもの。」

重要な危険有害性

固体の中に有害とされる成分を少量含有している。
 加工時の粉塵が呼吸器に障害を与える可能性があり、粉塵爆発の可能性がある。
 可燃性物質である。
 端面が鋭利であるため切創の危険がある。

3、組成及び成分情報

化学物質又は混合物の区分: 混合物

化学特性に関する情報

名称	メタクリル酸メチル 重合体	メタクリル酸メチル (MMA)
含有率 (%)	95以上	2以下
官報公示整理番号 (化審法、安衛法)	6-524	2-1036
国連分類	該当しない	3
国連番号	該当しない	1247
CAS No.	9011-14-7	80-62-6

その他の成分として着色剤、耐候性安定剤等を含有している。(非公開)

4、応急措置

- 目に入った場合 : 眼球を傷つけるおそれがあるので清浄な水で洗い流す。
 取れない場合は医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 通常では問題ないが、加熱して軟化している場合はやけどの恐れがあるため速やかに水で冷やし、必要に応じ医師の手当てを受ける。
- 吸入した場合 : 加熱・燃焼等によりガスを吸入し不快、頭痛、疼痛その他違和感のある場合には、新鮮な空気中に移し、静かに寝かせ、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 経口毒性は低い。無理に吐かせる事は危険である。直ちに医師の手当てを受ける。

5、火災時の措置

製品安全データシート

- 消火方法 : 一般火災と同様の消火方法を用いることができる。
 燃焼時には一酸化炭素の他、呼吸器や眼に刺激のあるメタクリル酸メチルが発生するため消火作業は風上から呼吸器を着用して行う。
- 消火剤 : 水、泡、炭酸ガス、粉末消火器

6、漏出時の措置

- 製品が固体であるためそれ自体が漏出することはない。
- 人体に対する注意事項 : 特記事項なし。
- 環境に対する注意事項 : 特記事項なし。
- 回収時の注意事項 : 特記事項なし。

7、取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 板の端面は鋭利であるため手足を切らないように注意する。
 保護紙を剥がす際には静電気災害に注意する。
 切削・切断・研磨等による切り粉・粉塵が眼に入ったり、吸入したりしないよう保護具・保護装置を使用する。
 切り粉・粉塵は着火しやすいので清掃を行い、火気の取扱いには注意する。
- 保管 : 高温多湿を避け、火気から遠ざける。

8、暴露防止及び保護措置

- 管理濃度: 未設定
- 設備対策: 粉塵対策として局所排気装置が有効である。
- 許容濃度: 粉塵に対しては以下の値を準用するのが妥当と考えられる。
- 日本産業衛生学会勧告値(2009年)
- | | | |
|-------------|-------|--------------------|
| 第3種としての許容濃度 | 総粉塵 | 8mg/m ³ |
| | 吸入性粉塵 | 2mg/m ³ |
- ACGIH(米国産業衛生専門家会議、2009年)
- | | | |
|--------------|------------------------|-----------------------|
| 一般粉塵としての推奨濃度 | INHALABLE PARTICULATE | < 10mg/m ³ |
| | RESPIRABLE PARTICULATE | < 3mg/m ³ |
- 保護具 :
- 呼吸用保護具 : 防塵マスク
- 保護眼鏡 : 保護メガネ
- 保護手袋 : 手袋

9、物理的及び化学的性質

- 外観等 : 板状、透明又は着色
- 臭い : ほとんどなし
- 融点・凝固点 : 明確な融点は存在しない。100℃以上で次第に軟化する。
- 引火点 : 280～300℃ 1)
- 爆発範囲 : 2.1～12.5Vol%(メタクリル酸メチル) 2)
- 比重 : 1.19
- 溶解度 : 水に不溶
- 自然発火温度 : 450～462℃ 1)
- 分解温度 : 220～300℃

10、安定性及び反応性

- 安定性 : 常温では安定。加熱にて分解しメタクリル酸メチルを発生。
- 避けるべき条件 : 可燃性物質であるため着火源は排除する。

製品安全データシート

混触危険物質 : 特になし

11、有害性情報

固体であり水への溶解もないため有害物質の析出はあったとしても微量と考えられる。
ただし、長期的(30日以上)に人体組織や体内流体と接触する医療用の器具及び製品、
乳幼児の口に触れるものや飲み込む可能性のあるものには使用しないで下さい。

急性毒性	: 知見なし
皮膚腐食性及び刺激性	: 分解ガスは刺激性あり
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 分解ガスは刺激性あり
呼吸器感受性又は皮膚感受性	: 知見なし
生殖細胞変異原性	: 知見なし
発ガン性	: 知見なし
生殖毒性	: 知見なし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 知見なし
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 知見なし
吸引性呼吸器有害性	: 知見なし

12、環境影響情報

生態毒性	: 知見なし
残留性・分解性	: 知見なし
生体蓄積性	: 知見なし
土壌中の移動性	: 知見なし
オゾン層への有害性	: 知見なし

13、廃棄上の注意

残余廃棄物 : 法令及び地区の条例に従って、焼却又は埋め立て処理を行う。
プラスチック回収業者によりリサイクルも可能。
汚染容器・包装 : 包装が汚染されることはないので材料により所定の廃棄を行う。

14、輸送上の注意

国際規制	
国連分類	: 該当しない
国連番号	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
海洋汚染物質	: 該当しない

15、適用法令

消防法	: 指定可燃物 合成樹脂類 (3,000kg以上)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	: 産業廃棄物(廃プラスチック類)
労働安全衛生法	: 危険物 該当しない
化学物質管理促進法(PRTR法)	: 該当しない
航空法	: 該当しない
船舶安全法	: 該当しない
大気汚染防止法	: 該当しない
海洋汚染防止法	: 該当しない
港則法	: 該当しない
道路法	: 該当しない

製品安全データシート

16、その他の情報 (引用文献等)

- 1) 須藤 プラスチックス 1999,44(9),18
- 2) 製品安全データシート(MMA5版) (旭化成ケミカルズ株式会社)

記載内容の取り扱い

危険、有害性の評価は十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願いします。
記載内容は情報提供であって保証するものではありません。